

平成 27 年度 社会福祉法人秋田育明会事業報告

・本 部

平成 27 年度は理事会及び評議員会を 4 回開催し、平成 26 年度の事業報告並びに決算、諸規程の改正、平成 27 年度の補正予算、平成 28 年度の事業計画並びに予算等についてそれぞれ審議した。

監事による監査と第三者委員による苦情受付・解決状況の確認を実施した。

外部講師を招いて法人職員合同研修会を実施した。

・竹生寮（生活介護、短期入所、施設入所支援、相談支援、放課後等デイサービス、日中一時支援）

施設入所では、1 名の入所、2 名の退所があり、高齢化・重度化が進む中、健康維持管理に重点を置き、健康診断をはじめとし、医療機関との連携を強めた。

生活介護では、日常生活の身辺処理、身だしなみに配慮して、健康維持管理に努めた。また、日中活動では、規模は小さいながら柳田新生寮やふきのとうと協同で生産活動を行い、社会参加ができるように努めた。

相談支援等事業では、相談件数も多い中、電話対応や訪問対応に努め、計画相談・障害児計画相談の件数も多く、相談支援専門員 3 名を配置して対応した。また、療育等支援事業では、放課後等デイサービス事業に移行する利用者もあり、件数的には減少傾向であった。

放課後等デイサービスでは、新規の事業として始め、体育館を活用し遊びを通しての運動や、社会参加、レクリエーション、学習サポート、相談活動などを行った。

短期入所では、毎月の利用があり件数も伸びているなか、緊急一時保護や虐待等の理由で長期利用されるケースもあった。

日中一時支援は、放課後等デイサービス事業を開始したことにより、学校の長期休み期間などでは併用利用される方の増加が目立った。

全体的には、落ち着いた生活ができるよう、安心・安全に配慮して事業を進めた。

・柳田新生寮（生活介護、短期入所、施設入所支援、日中一時支援）

施設入所では、2 名の退所があり、高齢化・重度化が進む中、健康維持管理に重点を置き、健康診断をはじめとし、医療機関との連携を強めた。

生活介護では、日常生活の身辺処理、身だしなみに配慮して、健康維持管理に努めた。また、日中活動では、規模は小さいながら竹生寮やふきのとうと協同で生産活動を行い、社会参加ができるように努めた。

短期入所及び日中一時支援では、件数は少ないものの、土日の利用が目立った。

全体的には、落ち着いた生活ができるよう、安心・安全に配慮して事業を進めた。

・ふきのとう（生活介護）

家庭の都合や病気等で毎日の定員利用には至っていないが、活動支援内容の見直しやPR等のプロジェクトチームを作り、利用者確保に努めた。

生活介護では、日常生活支援、機能訓練、健康チェック等を行い、日中活動では竹生寮や柳田新生寮と共同作業などに参加した。

・ささこやま（共同生活）

1名の家庭復帰、1名の地域生活移行（アパートでの一人暮らし）があり、定員は割っているが、4名が一般就労、4名は就労継続B型事業所利用で、世話人の食事提供を中心に、落ち着いたグループホーム生活ができるよう努めた。

・雪やなぎ（共同生活）

1名が一般就労しており、4名は生活介護を利用している。生活支援員を中心とし、夜勤職員も配置して安心したグループホーム生活が送れるよう努めた。

・苦情受付・解決状況

利用者の声を広く受け付ける為に、“ご意見ボックス”箱を設置しているが、利用されず直接的な申し出が多く、各担当や苦情受付担当が対応にあたった。

内容としては、利用者からは修理の依頼・トラブル、ご家族からは利用者の支援に関する要望や医療に関する要望が主であった。苦情や要望に関しては、利用者本人やご家族のご意見・ご相談を聞きながら、対応・解決に努めた。今回利用者本人の件数が少ないが、修理・トラブルについてはその都度すぐ対応し、解決にあたった。

相談内容	申出人（名）	相談件数（件）	解決件数（件）
利用者関係	5	5	5
家族関係	18	19	19
短期入所関係	0	0	0
GH関係	0	0	0
地域・業者他	1	1	1
計	24	25	25